

国内最大級パブリック DMP を提供するインテーム・マージャー 業務効率の向上を目的としたリスキングを支援する 「ジェネレーティブ AI 利用補助制度」を導入 ～人間と AI が仕事を分業する新時代の働き方へ～

国内最大のパブリック DMP を提供するデータプラットフォームカンパニーの株式会社インテーム・マージャー（本社：東京都港区、代表取締役社長：築島 亮次、以下当社）は、人間と AI がそれぞれの得意分野で分業することで業務効率を向上させるためのリスキングを支援する「ジェネレーティブ AI 利用補助制度」を導入したことをお知らせします。



当社は創業以来、「世の中のさまざまな領域において、データを使った効率化をする」というミッションを掲げており、データを活用することで業務の効率化や最適化が可能となるサービスを提供しています。そのため、生産性の向上が見込める場合は AI サービスを積極的に活用するという考え方を持っています。しかし、AI を活用して生産性の向上や良好なパフォーマンスが期待するには、人間が AI と分業するためのリスキングが必要です。そこでこのたび、業務効率の向上を目的としたリスキングを支援する「ジェネレーティブ AI 利用補助制度」を導入しました。

本制度は、当社が指定するジェネレーティブ AI サービスの活用を希望する従業員に全額または一部会社負担で提供し、各々の業務において AI との分業に必要なスキルを身につけさせることで、最終的にビジネスプロセスの改善を促進することを目的としています。まずはじめの「指定ジェネレーティブ AI サービス」としてワークスペース上で利用できる AI サービス「Notion AI」を採用しました。「Notion AI」に情報の整理・要約作成やプレストのサポートなどを依頼することで、業務効率化や生産性向上につなげることができると考えています。なお、今後も「指定ジェネレーティブ AI サービス」の対象は増やしていく予定で、従業員が個人で活用している AI サービスも「業務の効率化が図ることができるサービス」として会社に申請し承認された場合は認定していきます。

当社は、従来の「自社」と「アウトソーシング」の分業という考え方に「AI」との分業という選択肢を与えることで、従業員がより生産性の高い環境で働けるよう支援し、取引先企業の皆さまに向けて付加価値を高めたサービスを提供してまいります。また、今後も従業員がより働きやすい環境や制度を構築するために、さまざまな取り組みも進めていきます。

■インテーム・マージャーについて (<https://corp.intimatemerger.com/>)

「世の中のさまざまな領域における、データを使った効率化」をミッションに掲げ、国内 DMP 市場導入シェア No.1(※1)のデータ活用プラットフォーム「IM-DMP」を保有するデータマーケティングカンパニー。約 4.7 億のオーディエンスデータ(※2)と高度な分析技術を掛け合わせたデータ活用プラットフォーム「IM-DMP」の提供・構築支援、データ活用に関するコンサルティングサービスを提供しています。また、プライバシー保護に関する取り組みとして、一般社団法人 日本経済団体連合会が掲げる「個人データ適正利用経営宣言」に賛同しています。今後は Sales Tech や Fin Tech、Privacy Tech などの X-Tech 領域に事業を展開し「データビジネスのプロデューサー集団」を目指します。

※1 出典元：「DataSign Web サービス調査レポート 2021.2」

※2 一定期間内に計測された重複のないブラウザの数を示します。多くの場合、ブラウザの識別には Cookie が利用され、一定期間内に計測された重複のない Cookie の数のことを示します。

本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ
株式会社インテーム・マージャー 広報 岸田
Email: pr@intimatemerger.com